

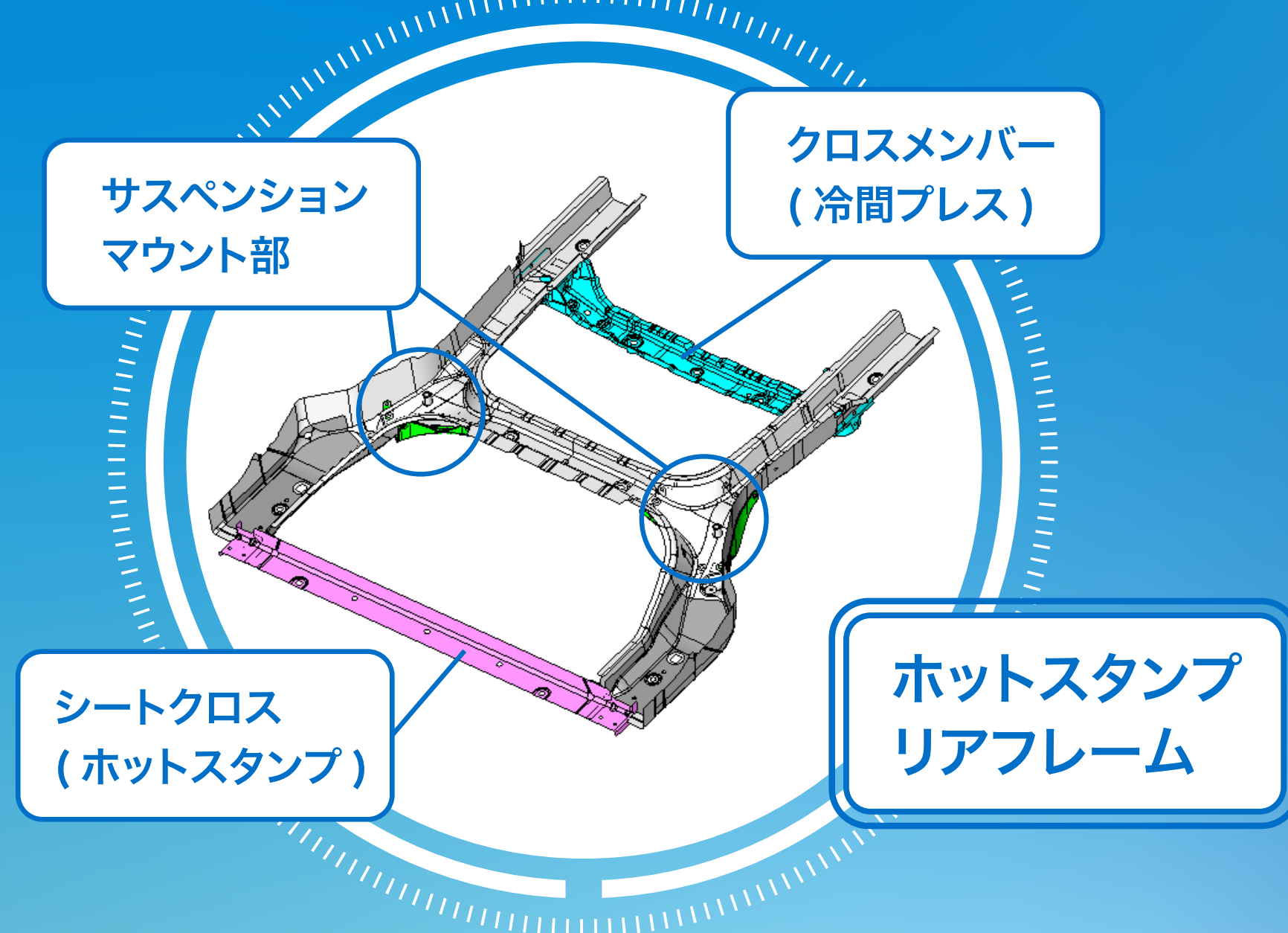
車体骨格統合部品 リアフレーム

□ 量産
■ 試作
□ 開発

車体

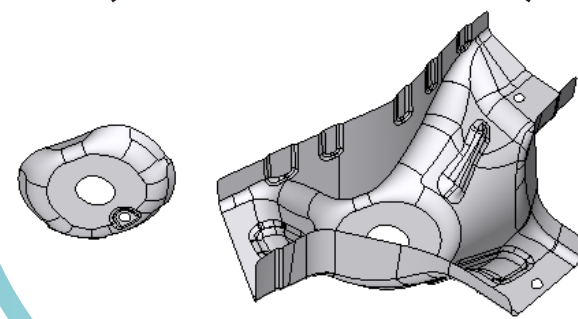
適用部品例

・リアフレームの一体化技術の応用



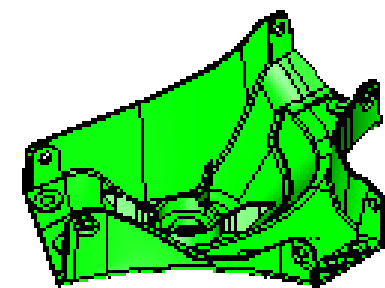
サスペンションマウント構造

従来構造
(スチールプレス)



2 部品構成

一体化構造
(アルミダイキャスト)



1 部品構成

「一体成形と機能集積がもたらす次世代のフレーム構造」

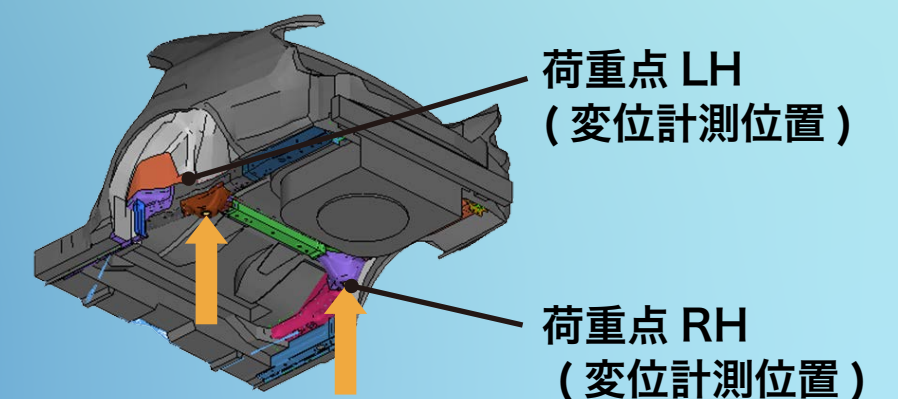
～一体リアフレームが切り拓く次世代の車体構造～

- ・開発したリアフレーム一体化構造に、シートクロスとクロスメンバーを接合し、更なる機能集積により、「最終形態」を具現化しました
- ・さらに、サスペンションマウント部を従来のスチールプレス部品からアルミダイキャスト部品へ置換することで、部品点数の削減と共に、剛性と軽量化を最適化した、車体構造の「発想の転換」を提案します

導入メリット

- ✓ 組立工数の大幅削減（ラインの短縮）
複数の部品を1つのモジュールとして納入することで、車両組立ラインでの工程を削減できます
- ✓ 操縦安定性と乗り心地の向上
サスペンション入力部の剛性をピンポイントで高めることで、ダイレクトなハンドリングと不快な振動の低減を実現します

〈変位量 計測位置〉



質量同等仕様
荷重点変位量

38% 削減



プレスのかで、未来にプラス。